



AMAZING TOYAMA

AMAZING TOYAMA 会議

—とやま まちづくり市民討議会 2018—

事業報告書

主催：富山市
公益社団法人富山青年会議所

作成：富山市
公益社団法人富山青年会議所
とやまの人材発掘委員会

目次

I 事業概要

1. 本報告書の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 「AMAZING TOYAMA 会議 ～とやま まちづくり市民討議会 2018～」
開催に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
3. 「AMAZING TOYAMA 会議 ～とやま まちづくり市民討議会 2018～」
開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～P 3

II 討議結果

テーマ「誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！」

議題1) とやまの好きなところ

議題2) とやまの嫌いなところ

議題3) とやまへの愛着を育むには？

◆ 10月27日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～P 6

◆ 10月28日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7～P 9

III アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10～25

《参考資料》

1. 開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 26
2. 開催案内チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 27～28
3. 開催風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 29

I 事業概要

1. 本報告書の位置付け

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所（以下、富山JC）と富山市が共催で実施した「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、改めて参画意識を高めていただければと思い作成いたしました。この報告書が市民の皆様のとやまのまちづくりに積極的に参加しようと思っただけの機会になることを願います。

2. 「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」開催に至る経緯

このとやまでは、市民がまちづくりに参画する機会は用意されていますが、そのほとんどが既にまちづくりへの当事者意識が高い市民が自主的に参加する機会であり、日ごろまちづくりに対して積極的な行動や提言をしていない市民が集い、まちづくりについて考え意見を交換する機会が少ないという現状があります。

それらを踏まえ、私たち富山JCと富山市が連携をとり、市民がまちづくりについて考え、互いの意見を交換する機会が必要と考え、この「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」を開催いたしました。この機会を通じて、市民のまちづくりへの参画意識が高まることで、まちづくりに関心が深まり、まちのために行動する市民が増えることで、市民の意見や考えが地域に影響を与えます。この市民討議会は、市民の声を行政の施策に反映するための新しい手段として本年度9回目の開催に至りました。

3. 「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」開催概要

1) 開催日時

2018年10月27日（土）10：00～15：00

2018年10月28日（日）10：00～15：00

2) 開催場所

まちなか総合ケアセンター 地域連携室

3) 討議テーマ

「誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！」

議題1) とやまの好きなところ

議題2) とやまの嫌いなところ

議題3) とやまへの愛着を育むには？

4) 参加者抽出方法

住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民3,000名にチラシと開催案内状を送付し、参加希望者の中から抽選で、各日50名、2日間合計100名の参加者を決定いたしました。1日目3名、2日目3名が都合により欠席したため、27日47名、28日47名 合計94名の参加となりました。

2016年度からの返信数他 実績一覧

	2018年度実績		2017年度実績		2016年度実績	
参加定員数	100		50		50	
案内発送数	3,000		1,500		1,500	
返信数	775	25.83%	415	27.66%	437	29.13%
参加可能数	134	17.29%	66	15.90%	45	10.30%
見学数(希望)	7	0.90%	2	0.48%	1	0.23%
不参加数	634	81.80%	349	84.09%	391	89.47%
参加数	94		49		46	

I) 2018年 参加可能者内訳

年齢	合計	男	女
10代	17	11	6
20代	31	14	17
30代	31	10	21
40代	17	9	8
50代	14	8	6
60代	11	7	4
70代	11	4	7
80代	2	1	1
合計	134	64	70

II) 2018年 参加者内訳

年齢	合計	男	女
10代	12	7	5
20代	23	11	12
30代	18	9	9
40代	10	5	5
50代	11	5	6
60代	10	7	3
70代	9	4	5
80代	1	1	0
合計	94	49	45

Ⅲ) 2018年 不参加理由

	理由	人数
参加できません	興味があるが、都合がつかない	358
	興味がない	129
	計	487
その他の理由	育児・出産・介護のため	30
	県外進学のため	22
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	20
	県外在住のため	13
	仕事のため	12
	持病のため	11
	高齢のため	10
	受験生のため	2
	転入してきたばかりで富山のことがよくわからないから	2
	学校行事のため	1
	富山マラソンに参加するため	1
	市に対して不勉強なため	1
	市議会議員とディスカッションするなど意見が反映されるなら参加したい	1
	合併後の富山市にネガティブなため	1
	県外へ引っ越すため	1
	人前で意見を言うのが苦手だから	1
	他人との交流がうまくできないため	1
	無記入	17
計	265	
	合計	634

5) 討議進行方法

- 1 自己紹介
- 2 係決め
- 3 討議の練習
- 4 議題1 意見抽出
- 5 議題2 意見抽出
- 6 議題3 意見抽出
- 7 まとめ
- 8 発表
- 9 投票

II 討議結果

テーマ「誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！」

- 議題1) とやまの好きなところ
- 議題2) とやまの嫌いなところ
- 議題3) とやまへの愛着を育むには？

◆10月27日まとめ

とやまの好きなところとしては、犯罪や災害が少なく住みやすいところ、水が綺麗で海の幸・山の幸が豊富なところといった意見が、どのグループからも出た。また、嫌いなところとしては、晴れの日が少なく雪が多いという天候面と、交通が不便、コンパクトシティを推進しているのは理解できるが街中のみというインフラ面の意見が多かった。特に若者からは、娯楽施設などの遊ぶ場所が少ない点を指摘する参加者が数多くみられた。

愛着を育むためには、まず自分たちがとやまの魅力を知る、マイナス面をプラスに変えられるように考える、行政に頼らず市民自らPRする、その為にはこの「AMAZING TOYAMA 会議」のような市民参加型の話し合いの場をもっと増やしてほしいという意見が出た。

◆10月27日 各グループの討議ボード

Aグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！
A	う い ち ょ う
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物、特に海産物が美味しい ・ 自然(海山)、水が豊か ・ 災害(地震・台風)が少ない ・ 市の中心部から1時間以内でどこへでも行ける ・ 県民性(勤勉・倹約)
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の利便が悪い ・ イベント等の情報を得づらい ・ 条件の良い雇用先が少しい ・ 晴れの日が少ない ・ 県民性(閑鎖的・元気がない) ・ 善い悪い(職人気質)
議題③とやまへの愛着を育むには？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便をよくする ・ 市民に伝わるような情報の発信の仕方をする ・ 労働条件(賃金・職場環境)をよくする ・ 教育 ・ 子どものころから地元(歴史や文化)に触れる機会をつくる ・ 自然に触れる体験をさせる ・ 自分の周りの人(仲間、家族、友人)にもっと触れる機会を増やす

Bグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！
B	ポタレイヤ万歳
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境(景色・空気・水)が豊か ・ 食べ物(米・魚・和食)新鮮美味しい ・ 人柄(親切・優しい) ・ 文化(祭・産業)
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関が不便(本数・値段) ・ 雪が多い、除雪が不変 ・ 娯楽施設・モールが少しい ・ 駅周辺が暗い ・ 住居の質が低い
議題③とやまへの愛着を育むには？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の繁華を待つ(イベント)、町内会活動 ・ 交通網(公共交通機関の整備、車いすは、町内会) ・ 富山の特産物(食料・工芸品)を県内外にPR ・ 地元の良いところ

C グループ

討議テーマ 誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!

C ナーム きときと

議題①とやまの好きどころ

- ① 豊富な自然、② おいしいお米やお水がある ③ 通勤時間が高い
- ④ 災害が少ない。

議題②とやまの嫌いどころ

- ① 富山きときと空壳のきときはおかしいのでめてほしい。
- ② バスや電車の本数が少ない、③ 海が近い、④ 買い物する場所が少ない。
- ⑤ 冬は雪が積もて足場が悪い。

議題③とやまへの愛着を育むには?

- ① 街を歩きながら 美化活動イベントの実施。
- ② 中心地へ行きやすい駅、駐車料金の低減、③ 商業施設を増やす。
- ④ 観光地PR強化。

D グループ

討議テーマ 誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!

D どんとこい! DO KIDOKI とやま

議題①とやまの好きどころ

安心して暮らせる・働ける・食べられる

議題②とやまの嫌いどころ

- ・ 交通が不便
- ・ 地味で目立たない県民性

議題③とやまへの愛着を育むには?

- ① まず、富山を知ろう。
- ② 体感しよう。
- ③ シェアしよう。

PRがヘタ!!

LOVE TOYAMA

E グループ

討議テーマ 誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!

E うさぎちゃんナーム

議題①とやまの好きどころ

- 自然** 立山連峰と富山湾に囲まれた自然豊かなまち
- 食** 1から育まれた新鮮な魚や山の幸が豊富
- まち** 3 犯罪が少ないまちもキッズにも預けやすい、安心して暮らせるまち

議題②とやまの嫌いどころ

- 遊ぶ** 大学や専門学校が少なく若者の集まる場所が少ないイベントのアピール不足
- 交通インフラ** 車の依存が高く公共交通機関に乗る機会が少ない、運賃が高い
- 雪対策** 車優先の除雪(歩行者に優しい除雪)

議題③とやまへの愛着を育むには?

- 地域コミュニティの充実
- 県内外へのアピール
- 今日のような意見交換がたくさんあればよい

F グループ

討議テーマ 誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!

F フレッシュ

議題①とやまの好きどころ

- ・ 人が多くないので住みやすい、キレイで文化即ち街づく
- ・ 環境が良い、海の幸山の幸が豊富で食べ物がおいしい。
- ・ 災害が少ない(現時点) 人の良さ(キラキラしていない)

議題②とやまの嫌いどころ

- ・ 都市中心の環境整備
- ・ 圏外へのケア不足
- ・ 住みやすいエリアとのギャップ、行政主導の街づくりにミス
- ・ 宣伝がヘタ(良いところの的確にアピールできていない)
- ・ 若者の遊び場が少なく月世代のつながりが乏しい。

議題③とやまへの愛着を育むには?

- ・ 県内外の交流を促進するとの高山の良さを再発見(その上で他の都市の取り組みを参考にする必要を)
- ・ 市民レベルの盛りあがりや助長する行政側のスタンス
- ・ とやまにまずと住み続けてもらえるよう適切な交通網整備が必要

・ マイナス面をプラス(ストロングポイント)に例: 宮じの(ハジメ)を活かしたエビ料理の虎岡と

◆10月28日まとめ

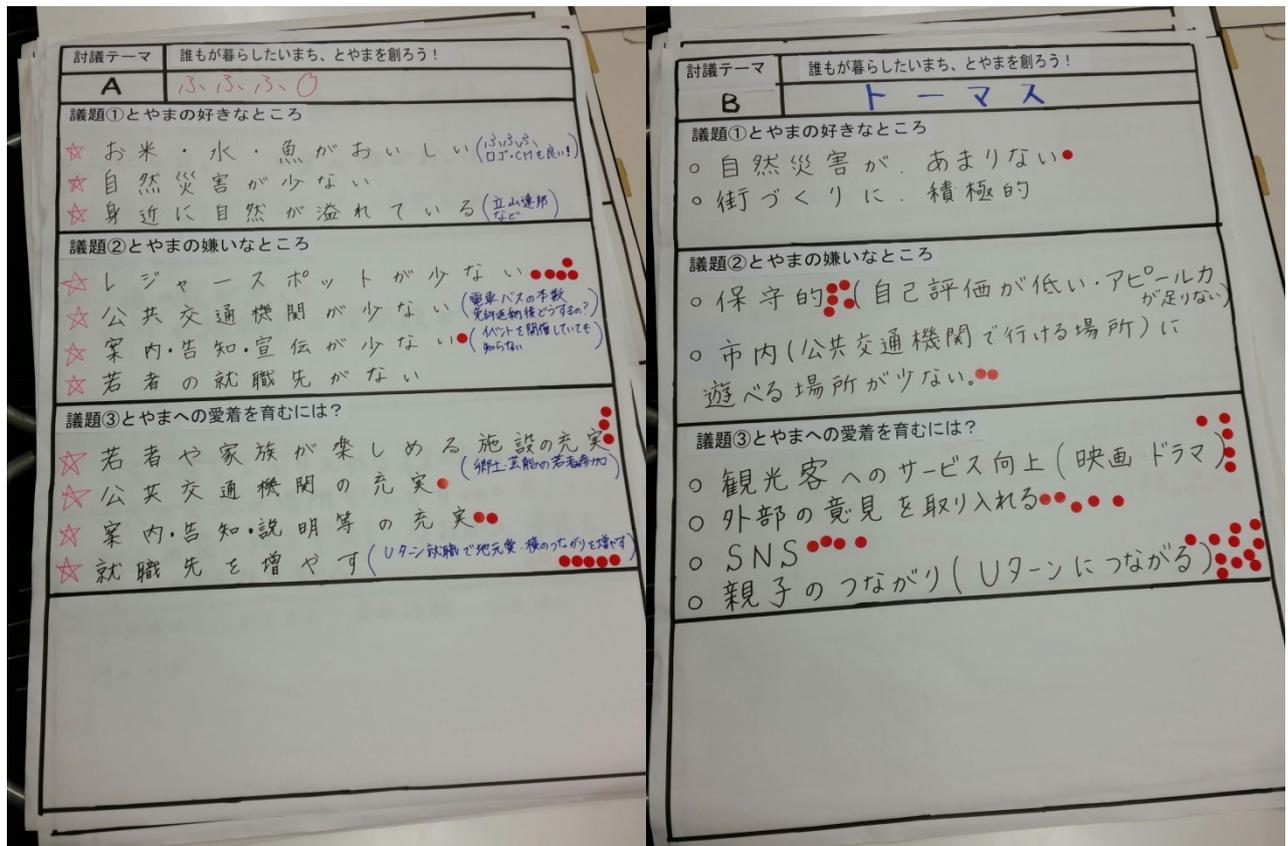
とやまの好きなどころとしては、27日同様、災害が少なく住みやすい、食が豊富という意見が多く、まちづくりに積極的であり、待機児童がゼロである、そして映画やアニメの舞台になっているなど若者カルチャーに積極的であることなど、行政への称賛の声が多数聞かれた。しかしながら、嫌いなどころとしては、いい面がたくさんあるのにもかかわらずPR不足なことや、インフラの整備不足、また、有効求人倍率が2倍以上あるとやまではあるが、若者の働く場が少ないという意見も出た。

愛着を育むためには、とやまの良さ、魅力を知ることが大切であるという意見が多かった。そのためには、他県や外国など、自分たちのまちだけではなく他を知ることで、とやまの良さを再確認できるのではないか、そんなことを若者にたくさん経験してほしいという意見が印象的だった。

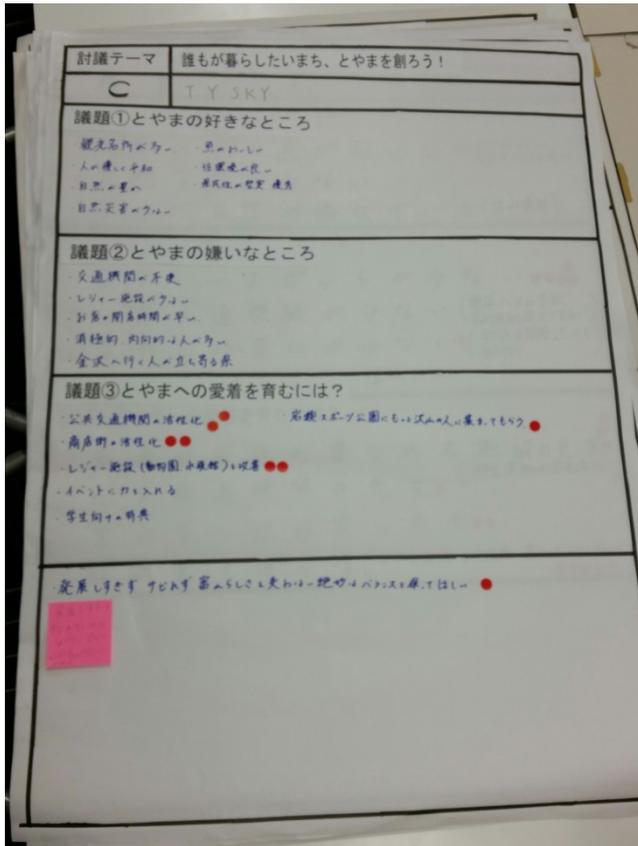
◆10月28日 各グループの討議ボード

Aグループ

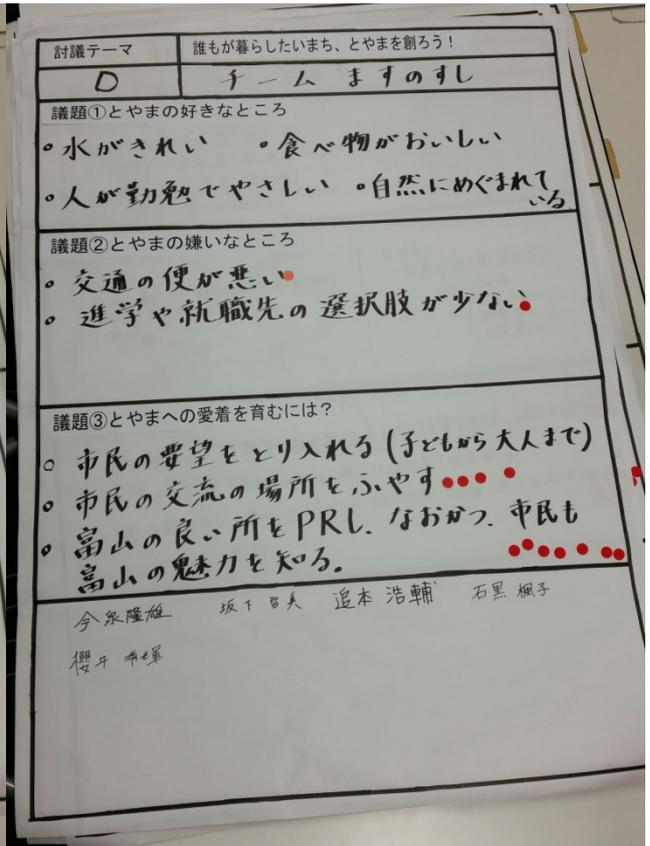
Bグループ



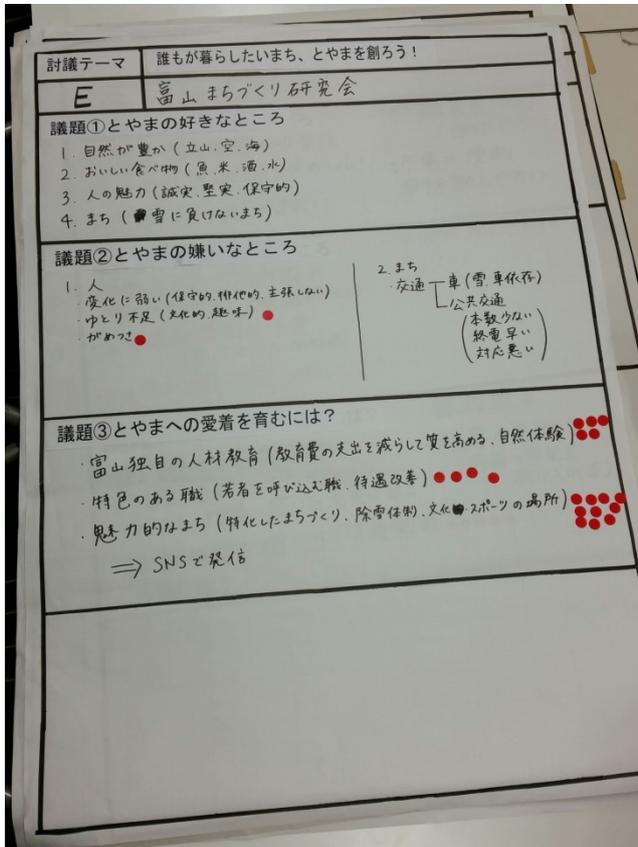
C グループ



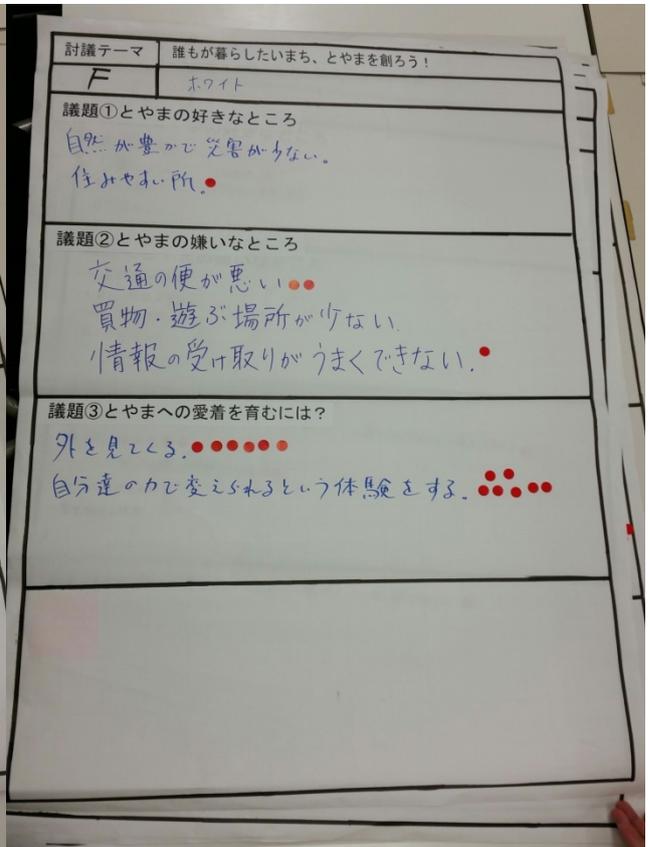
D グループ



E グループ



F グループ



Gグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!
G	頑張ろう! 富山
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童ゼロ (働ませやめい) ・自然災害の被害が少ない ・食べ物(魚・米・水)がおいしい ・市電が便利 ・自然が多く街がきれい ・車移動しやすい
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が高い(食料・ガソリン) ・娯楽・ショッピング施設が街なかになく(映画館など) ・公共交通機関が不便(大塚方面・バス・駐車場) ・融雪が行き届いていない
議題③とやまへの愛着を育むには?	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかにも自然を多く ・イベント・行事・祭りを充実させる ・移動手段を増やす(交通機関の強化) ・雪対策 ・教育の充実(若者の意見を取り入れる)

Hグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!
H	HAPPY
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物が美味しい・食材が豊か ・水や空気がきれい ・土地・駐車場・家賃が安い ・台風被害が少ない ・映画やアニメの舞台になっている ・救急車がすぐに来る ・美肌県 ・地域の人の仲が良い
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに行く場所が少なく、新しい店もすぐつぶれる ・公共交通機関が不便で、料金が安い ・イベントが少ない ・歩道に鳥のフンが多く、タイルが割れている ・冬季が過ごしやすい
議題③とやまへの愛着を育むには?	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利便性の向上 ・アニメなどの文化の情報発信に力を入れる ・有名な芸能人を利用したイベントを増やす ・夜遅くまでやる店を増やす ・老若男女が集える場所を作る ・有名店を駅の近くに作る ・観光に力を入れる ・地下街を作る

Iグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!
I	富山に来られ
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかは便利。(特に市電の使い勝手がよい) ・街なか文化施設が多い。(図書館あり、イベントホールあり) ・景色がきれい。(立山連峰)
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外から街なかへ行くのが不便 ・とやまの良工を知らない。手、伝わっていない ・就労機会が限られている。(特に文系)
議題③とやまへの愛着を育むには?	<ul style="list-style-type: none"> ・とやまのことをもっと知る。(学校、地域、家庭) ・とやま以外のことも知る。(交流の場を作る) ・例:大企業の本社に駐在する社員と就労機会を設ける ・とやまの良工を駅前で見せる。(装飾、ユニフォーム)

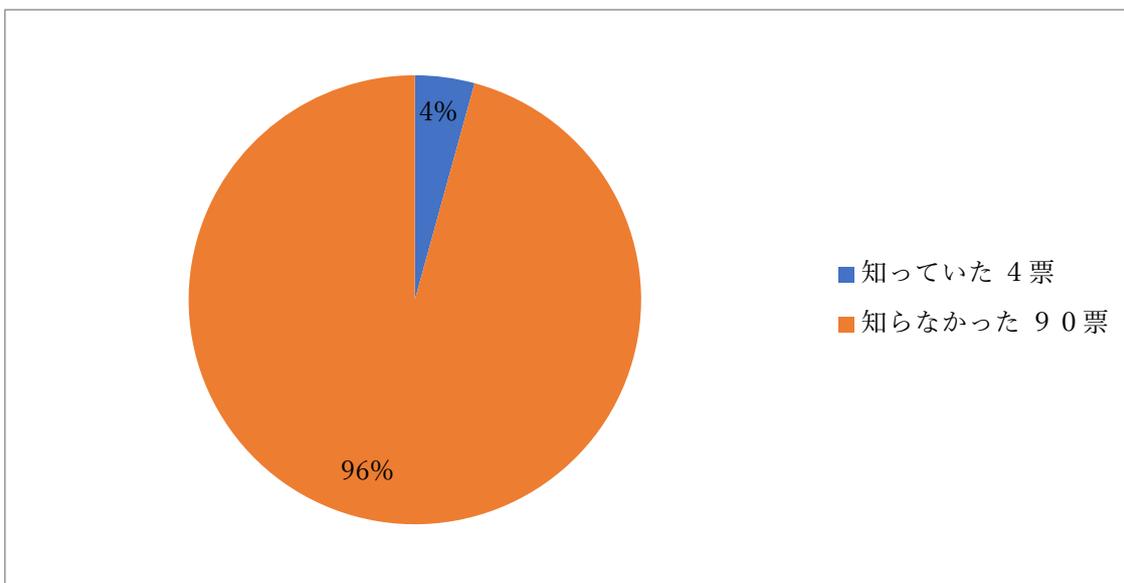
Jグループ

討議テーマ	誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう!
J	T T M S (とやま たてやま まじ 好き)
議題①とやまの好きなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か、水が綺麗で食べ物おいしい ・環境が良い、犯罪が少ない、子育てしやすい ・災害が少ない、安心できる街
議題②とやまの嫌いなところ	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が不便、遊電車、バスが少ない ・遊ぶ所が少ない、パチンコ、ボーリング、カラオケ、無い ・アピールが苦手、偏見が強い、閉鎖的 ・雨・雪の日が多い
議題③とやまへの愛着を育むには?	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の県と連携を図る ・いろいろなイベントに若者を参加させる ・良い所をもっとSNSで拡散
<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのアーティストが来るようなLIVE会場を作りたい! 	

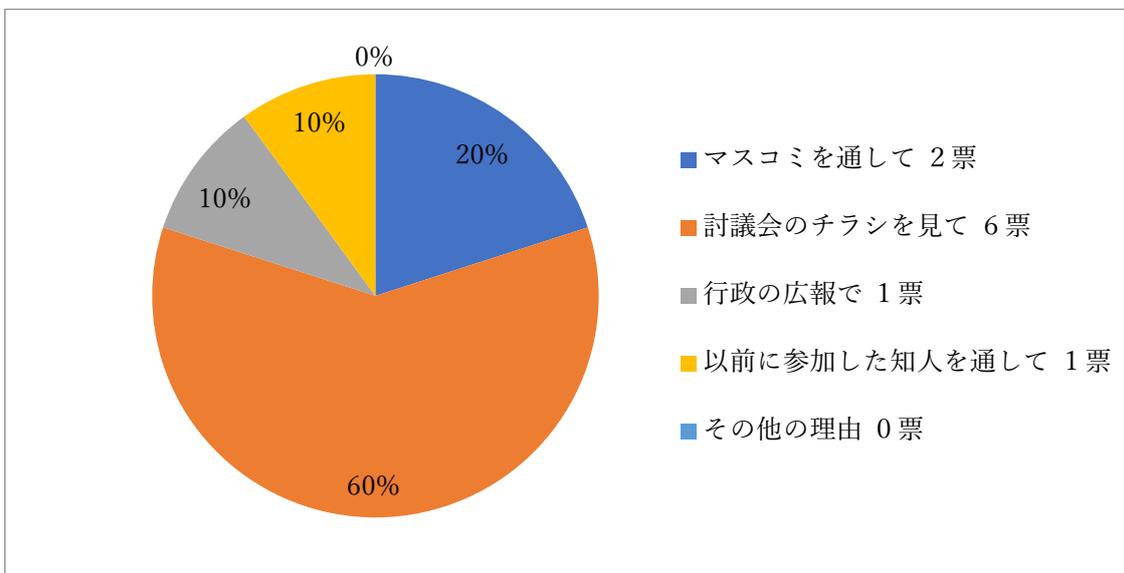
Ⅲ アンケート結果

AMAZING TOYAMA 会議
～とやま まちづくり市民討議会 2018～
アンケート結果

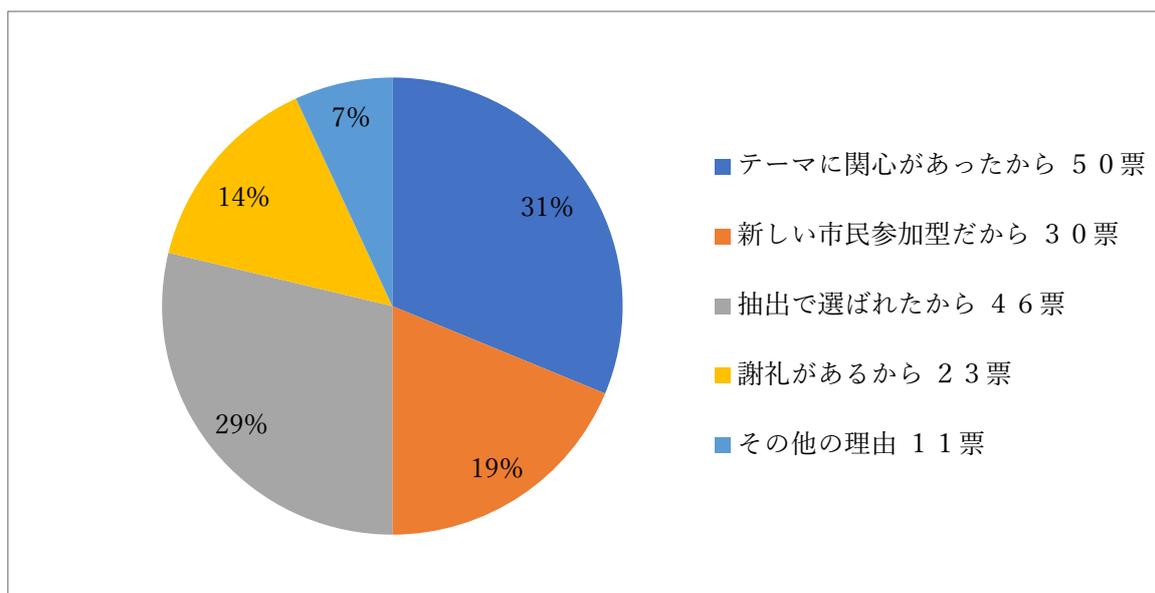
1. (ア) 案内が来た時点で、「市民討議会」をご存知でしたか？



1. (イ) 知っていた方は、何でご存知でしたか？（複数回答可）



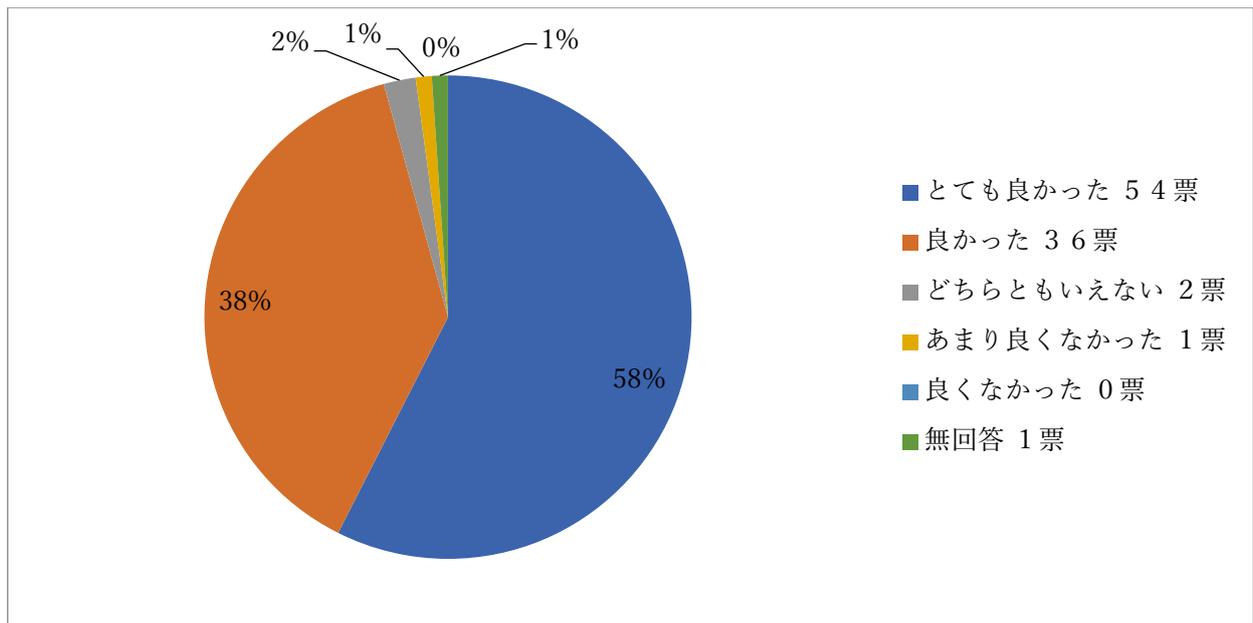
2. 参加動機についてお聞かせください。(複数回答可)



その他の理由

- ・富山が好きだから
- ・富山について、他の人が日頃から思っていることを聞きたかったから
- ・仕事の参考になるから
- ・街中に住んでいて、会場が近いから
- ・自分の体験を伝えたかったから
- ・富山をもっと活性化させたいから
- ・大学の入学試験などで質問されることがあるから

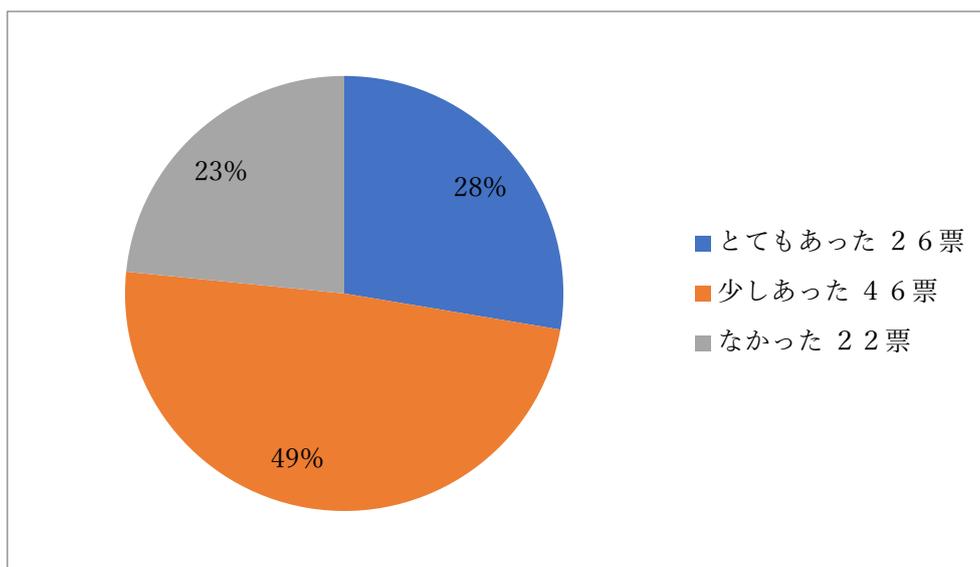
3. (ア) 参加された感想をお聞かせください。



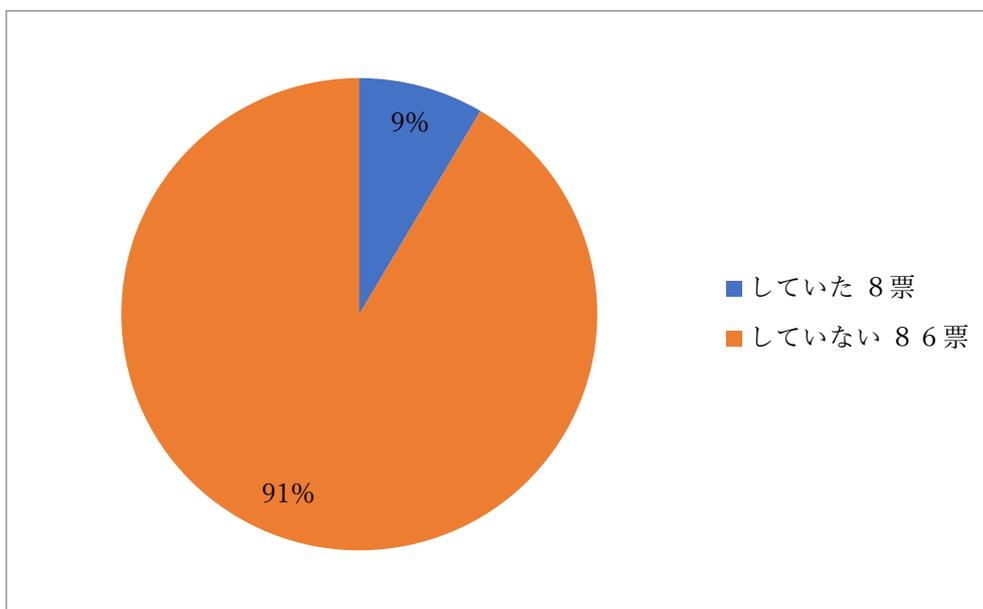
3. (イ) (ア) で選ばれた理由をお聞かせください。

- ・いろいろな世代の方と話ができてよかったから
- ・このような意見交換する場が少なく、新鮮だったから
- ・今後の富山市の発展に貢献できると感じたから
- ・普段聞けない意見を聞くことで新しい考えが生まれたから
- ・面と向かって話すことができたから
- ・富山について考える機会になったから
- ・地元のことを改めて深く考え、富山のことをますます好きになることができたから
- ・意見が偏りすぎていたと思ったから
- ・この会が何かに活かされているかどうかわからなかったから

4. (ア) この討議会に参加する前、「まちづくり」に対して興味がありましたか？



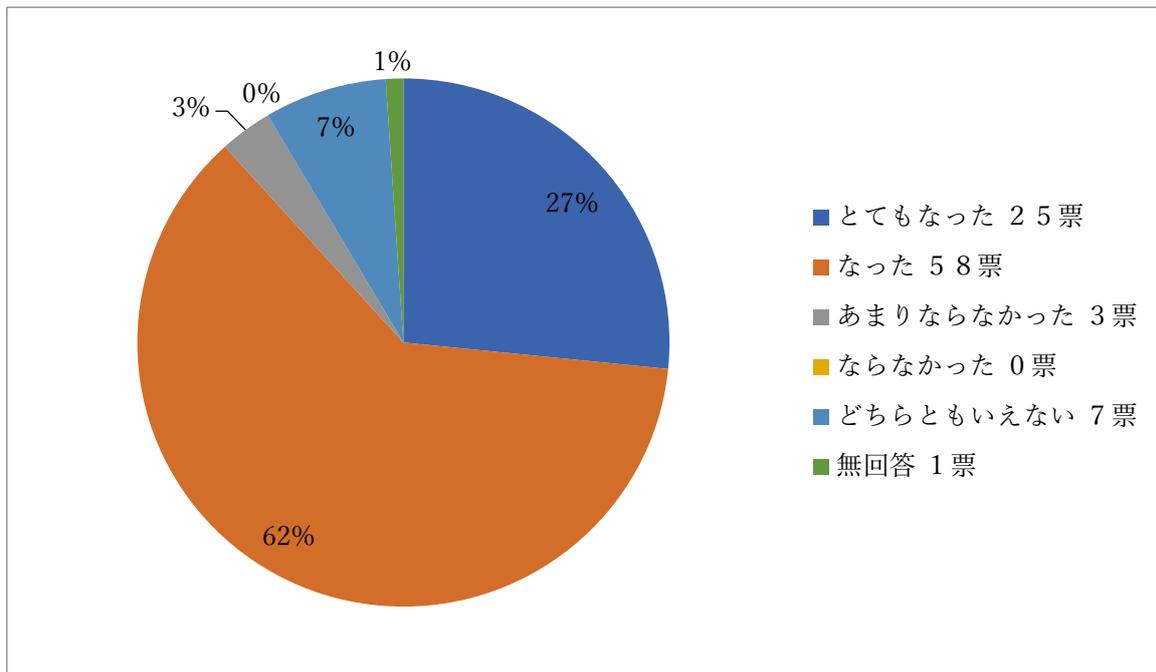
4. (イ) この討議会に参加する前に「まちづくり」に関わる活動をされていたか？



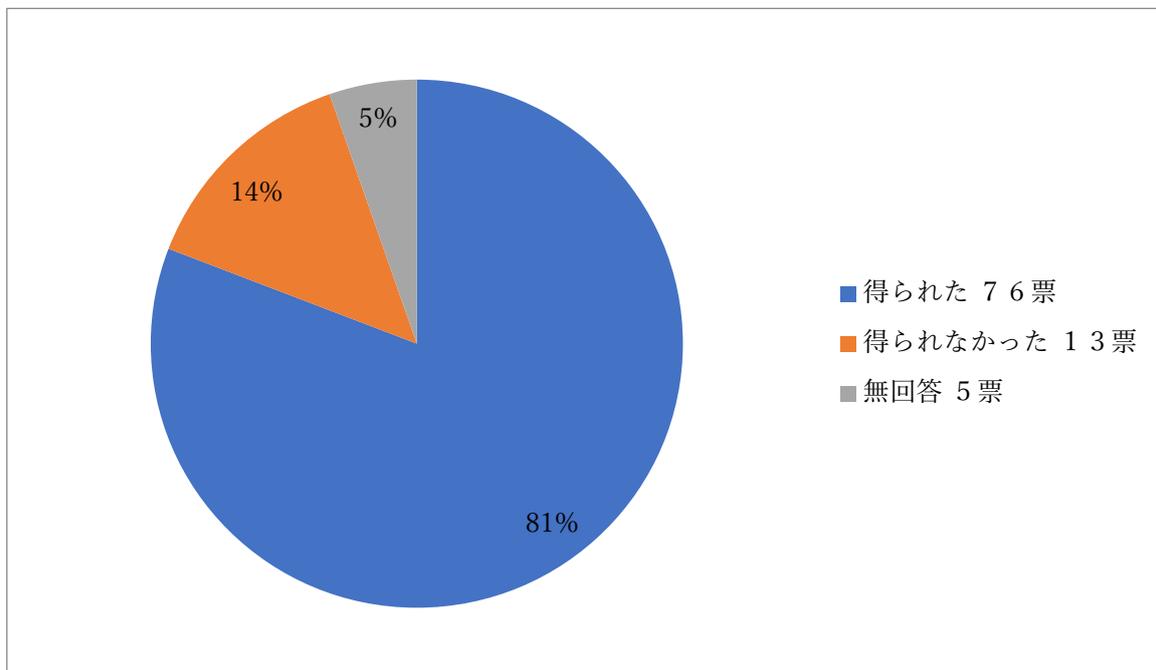
どんな活動をしていたか

- ・ 地域で民謡指導をしていた
- ・ 地域のゴミ拾い活動
- ・ 青年育成
- ・ 京都市議会に働きかける運動
- ・ 町内会
- ・ 中小企業家同友会
- ・ 小学校区のボランティア

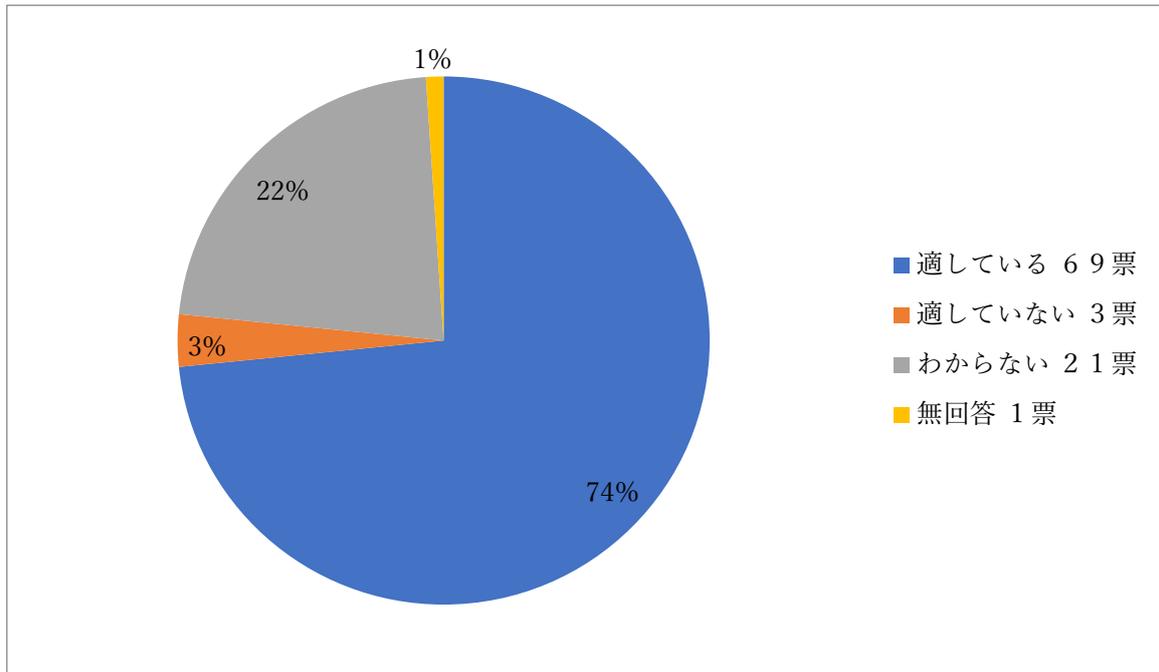
5. (ア) 討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？



5. (イ) この討議会に参加して、「まちづくり」に参加しているという実感を得られましたか？



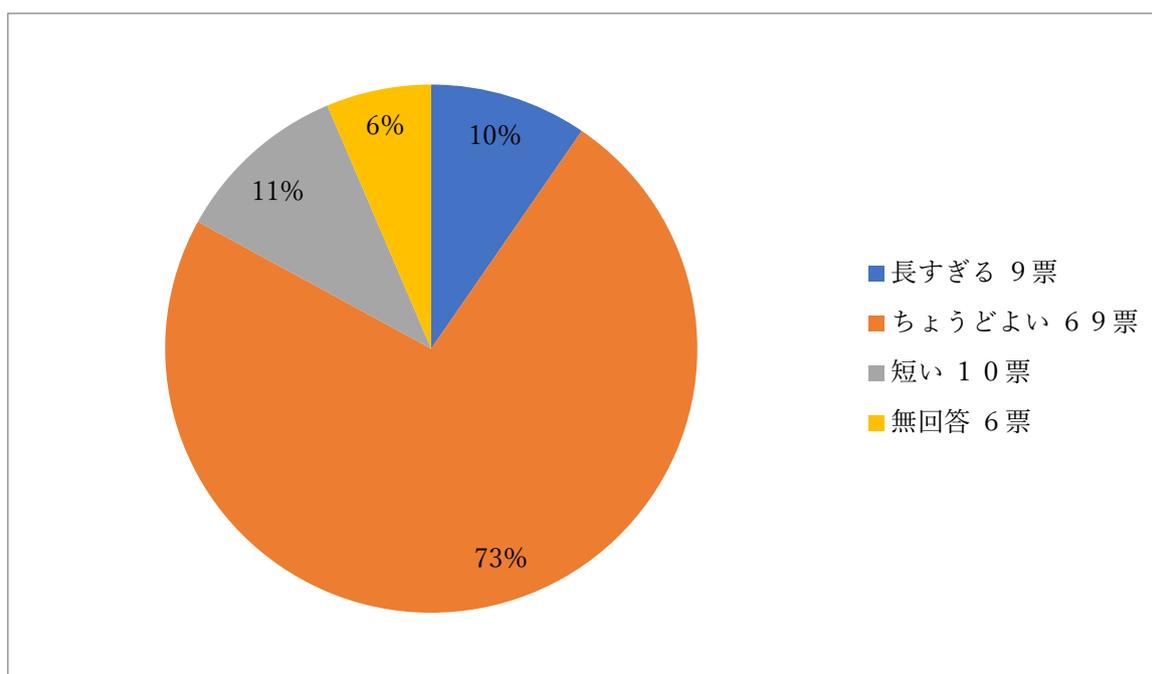
6. この討議会は市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？また、意見があればお聞かせください。



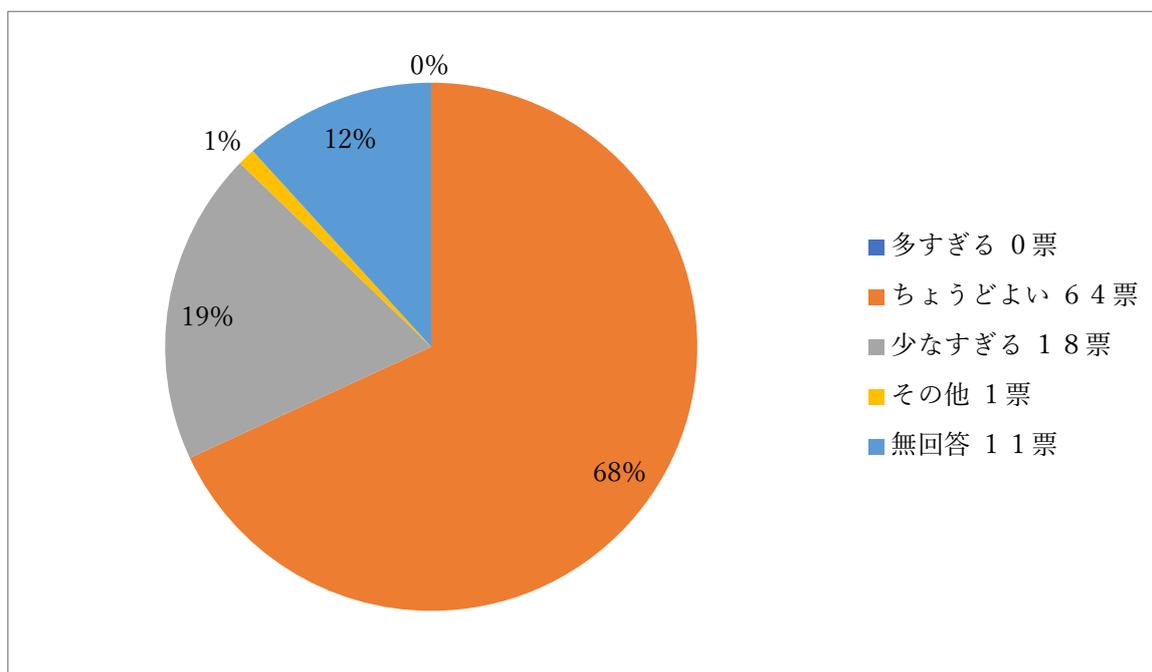
ご意見をご記入ください。

- ・もっと集める世代を拡大してほしい。やる気のある人は子供の世代にも居ます。
- ・グループでまとめると似たり寄ったりの意見になるのもっと具体的な個人の意見やアイデアを集めた方が市民の本当の声が伝わると思う。
- ・具体的な意見が少なかった。
- ・市民としての意識を持てる機会なので、今後も開催してほしい。
- ・市民を代表する声だと感じて実行してほしい。ある程度リードする人がいないと難しいと思うので。
- ・長く富山に住んで、市政に不快な思いをしてきたが、まだまだ信用できない部分が多い。
- ・最後の発表だけでも市長に同席してもらいたい。
- ・県内外の人の意見をすり合わせる機会が必要だと思った。
- ・実際に声は届くが、それが達成できるとは到底思えなかった。
- ・問題点は共通しているところが多い。解決方法に時間を割いたらどうか。
- ・意見が少しでも反映されるという実績がほしいです。
- ・以前の回答がどれだけフィードバックできているか、実行できているか見えない。
- ・市民の声を届けてほしい。
- ・来年も参加させてほしい。
- ・参加者以外も参加できるコンテンツがあればいいと思う。

7. 討議の時間についてお聞かせください。



8. 情報提供の量についてお聞かせください。

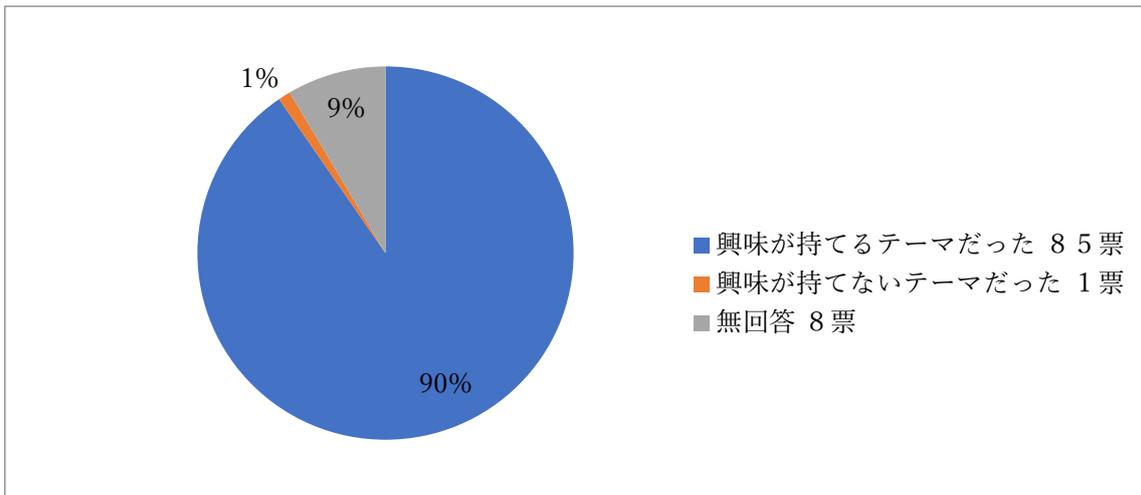


ご意見をご記入ください。

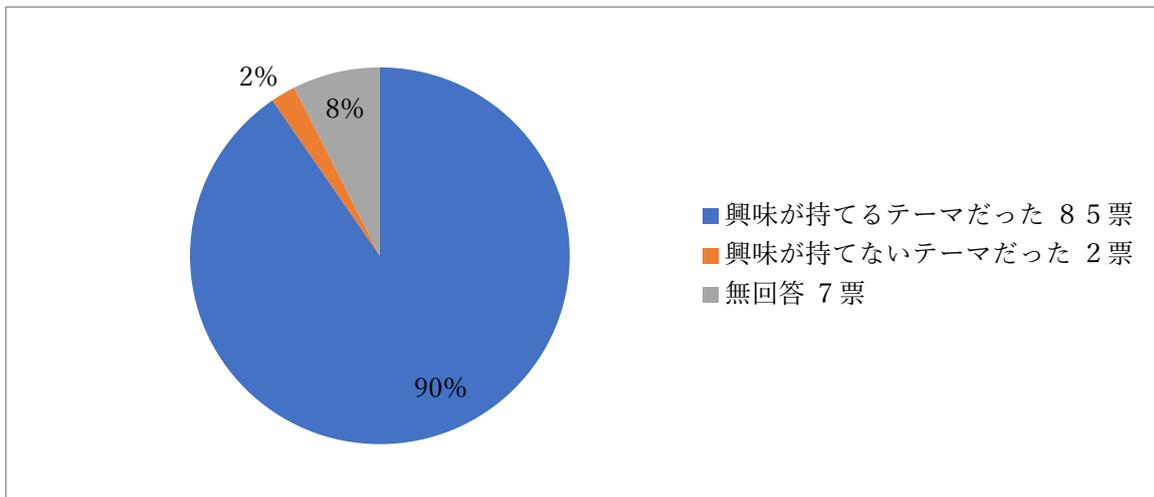
- ・ 情報提供は特になかったように感じた。
- ・ 好き嫌いだけでなく、他に考えることもあるかもしれない。

9. 討議テーマについてお聞かせください。

(ア) 討議1について



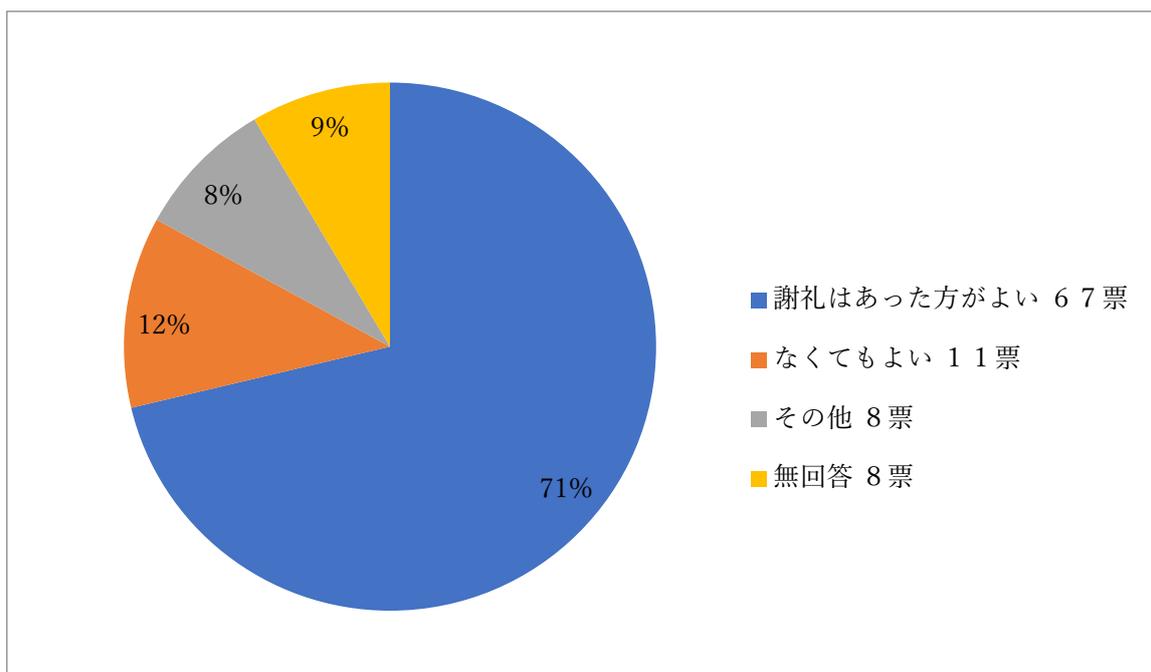
(イ) 討議2について



(ウ) 話し合ってみたいテーマがあれば、ご記入ください。

- ・子育て中なので子育ての環境について
- ・歴史遺産について
- ・20年後、30年後の富山について
- ・おすすめの観光地について
- ・教育
- ・若者だけでなく高齢者もテーマにしてほしい
- ・衰退の激しい高岡について
- ・働き方改革について
- ・富山が果たすべき使命について
- ・富山を元気にするには
- ・「あったらいいな、こんな場所」
- ・若者が集まるにはどうしたらいいか

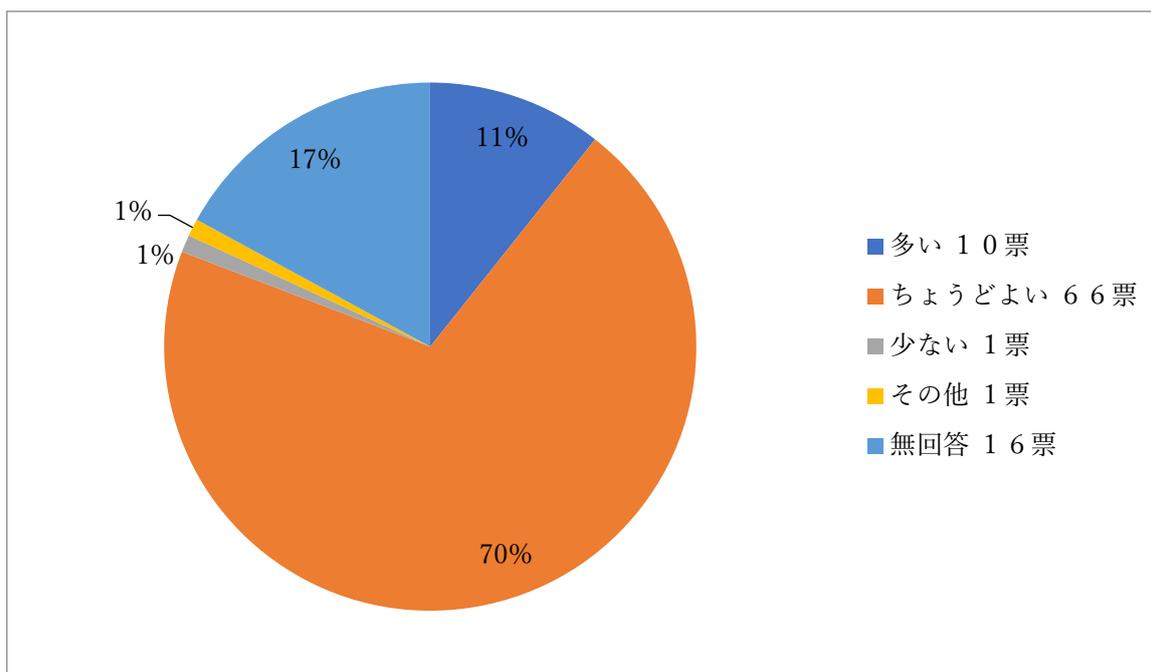
10. (ア) 謝礼についてお聞かせください。



ご意見をご記入ください。

- ・ある方が集まると思う。
- ・実費で良い。
- ・街中は駐車場代が高いので交通費程度はあった方がよい。
- ・長時間だし、頭も使うので、謝礼はあった方がよい。
- ・謝礼があることによって意見に責任を持てたし、しっかり準備しようと思えた。
- ・昼食だけでよい。
- ・謝礼があったほうが出欠の返事にも責任を持てるのではないか。
- ・市のためにやっているのでもどちらでもよいと思う。

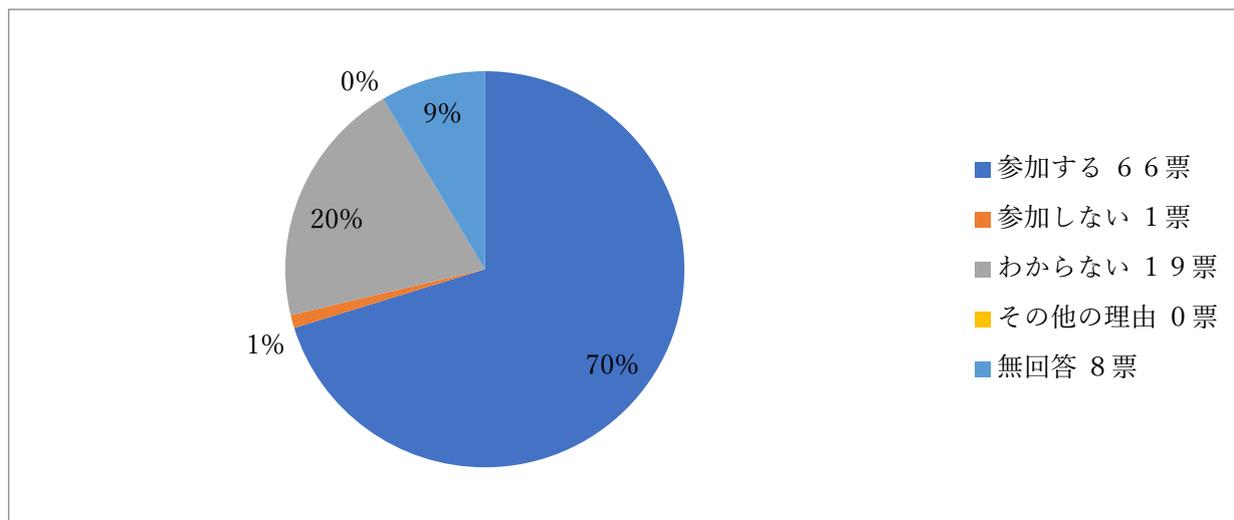
(イ) 謝礼金額についてお聞かせください。



ご意見をご記入ください。

- ・ 3000円ぐらいでいいと思う。
- ・ 2000円ぐらいでいいと思う。
- ・ 1000円ぐらいでいいと思う。
- ・ 交通費は別にしてほしい。
- ・ 交通費だけでもいいと思う。
- ・ 時給1000円ぐらいでいいと思う。

1 1. 以後、同じような企画の参加要請があった場合、参加しますか？



1 2. 本日の討議会を通して感じた事やご意見等をご自由にご記入ください。

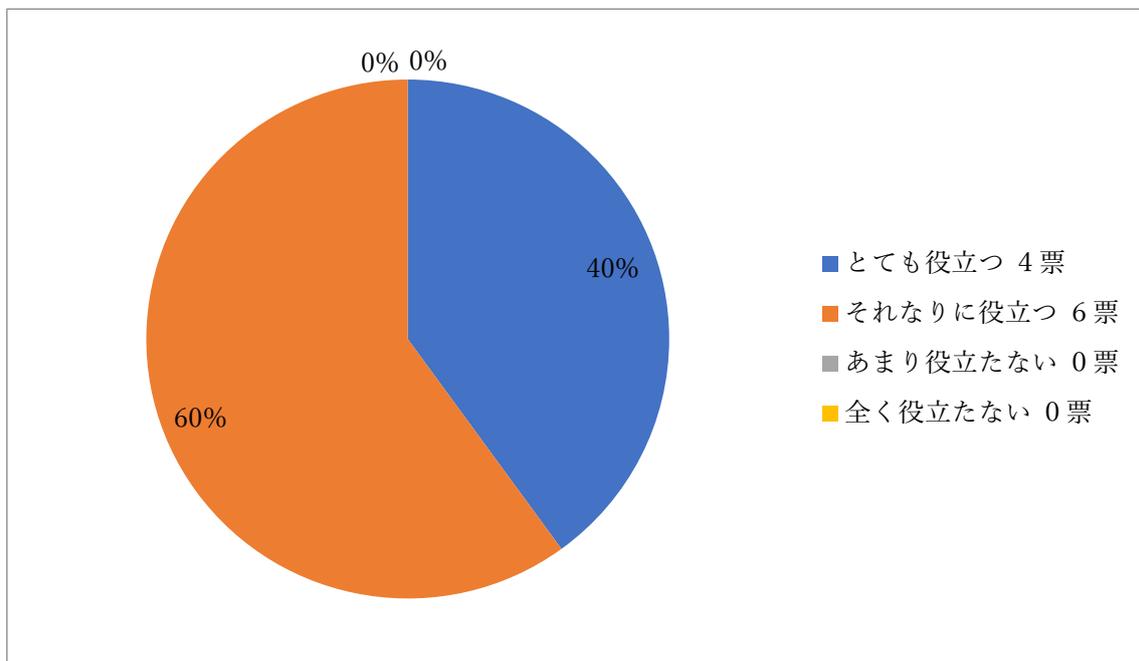
- ・自分の意見を言ったり、他人の意見を聞くことができ、良い機会だった。
- ・富山市としてのシビックプライドを醸成するため、業種・団体を明示した上で意見交換をしたい。
- ・雰囲気固い青年会議所の人があった。
- ・貴重な経験でした。
- ・富山がもっと好きになったし、富山がもっと良くなるように自分もがんばりたい。
- ・自分が思っていたよりも富山が好きであるということに気が付いた。
- ・若い方にもっと参加してほしい。
- ・富山で開催されるイベントは実際は多いが、少なく感じる意見が多かった。イベントのサイトを作ってくれたら、イベントを行う側も、イベントを知りたい側も便利だと思った。
- ・家族でも本日の討議テーマを話し合ってみます。
- ・深く意見を出すには時間が短い。2日間にわたってもいいと思う。
- ・様々な出身、世代で交流ができ、客観的に富山の印象を知ることができたので良かった。
- ・楽しかった。来てよかったですと思います。
- ・今日の意見をしっかりと市の政策に活かしてほしい。
- ・発表される方の時間はもう少し短い方がいいかもしれない。5分だと長く話す傾向がある。
- ・今まで会の存在を知らなかった。話し合った意見が活かされるといいと思う。
- ・日頃思っていたことが意外と皆と似ていたので興味深かった。
- ・意見を言うだけならSNSでもいいと思う。
- ・良い企画だと思うので続けてほしい。
- ・会の宣伝をもっとした方がいいと思う。
- ・まとめの時間が短かったと思う。
- ・これからはもう少し富山のことを考えて生活したいと思う。
- ・駐車場を用意してほしい。3000名からの抽選ではなく、応募制にしてくれたら来年も参加できるのに、と思いました。

AMAZING TOYAMA 会議
～とやま まちづくり市民討議会2018～
オブザーバーアンケート集計結果

Q1. あなたの所属している団体（行政、メディア、まちづくりに関する市民団体、企業など）に関して教えてください。

- ・富山JC（5名）
- ・立山舟橋商工会、アルプス青年農業者立志会
- ・商工会、消防
- ・YMCA
- ・県行政

Q2. 市民討議会での討議された内容は今後の皆様の活動に役立つものでしたか？



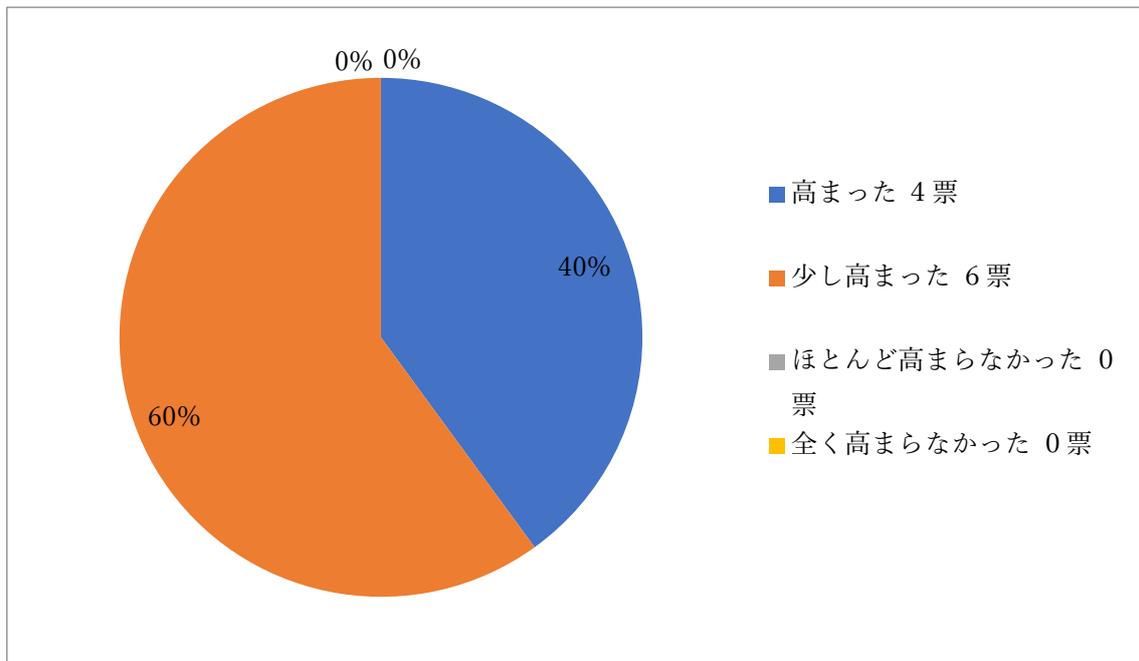
Q 3. Q 2. でその回答を選ばれた理由を教えてください。

- ・自身の画一的な考え方が全てではないから。多面的な意見を知ることによるメリットは大きいと思う。
- ・市民がどのような考えを持っているのかを理解、再確認出来ました。
- ・今の周りの方々のお話しを知りたかったのでとても良い機会でした。
- ・市民がどんな思いをもって普段生活しているかわかってよかった。
- ・市民の皆さんが住み暮らすまちについて考える機会を作ることが出来たため。
- ・参加されている市民が参画意識を持って臨んでいたから。
- ・会場の設営、運営が参考になります。市民の方の意見に自分に無い考え方がありました。
- ・行政の立場からしても、富山県の行政機関は、県民をうまくコントロール出来ていない。その場しのぎの施策が目立つので広く県民、市民から意見を求めるべき。
- ・市民を巻き込んだまちづくり事業を構築するための貴重な意見収集の機会になっていると思います。

Q 4. 本日の討議会に関してもっとも印象に残っている意見とその理由を教えてください。

- ・「親子の幸福感をUターンにつなげる」という考え方。教育水準が高いことを裏づける意見。面白い視点だと思う。
- ・富山に魅力がないわけではなく、発信ベタだという意見が多かった事が印象的でした。富山には何も無いという悲観する意見ではなくうれしく思いました。
- ・皆さんが一生懸命意見をお話しておられて素敵でした。
- ・問題点を皆さん体験的に考えていらして対応策も具体的なものであった。
- ・意見を述べる場が少ないという点。
- ・時間が経つにつれ、最初は硬い表情だった方々が笑顔になって意見を述べだしていった様子。
- ・まちの魅力を生かし切れていない。
- ・石川県の合併について。
- ・富山市民自身がとやまの魅力を認識しておらず、発信力がない（足りない）という事。

Q 5. 本日の討議会へのオブザーバー参加によって、まちづくりにより積極的に関わっていこうという意欲が高まりましたか？



Q 6. これからのまちづくり活動において、重要視しなければならないものは何だと考えていますか？

- ・自分がまちを構成する当事者のひとりであるという考え方をより強く持つ事。当事者意識を高く持つ事。
- ・意見をただ出すだけでなく、市民が能動的に行動していく事が必要であると感じました。
- ・安全で安心できる地域だといいなと思います。交通や飲食や医療など、経済もよくなるといいと思う。
- ・市民からの意見をよりよく聞き、どう落とし込んでいくのが大切。
- ・まちづくりが我が事として捉えられるようになっていく事。
- ・もっと身近にまちづくりを感じられること。
- ・市民一人一人が当事者意識をもってまちづくり活動に参加する事。
- ・一部ではなくなるべく広く多くの意見を参考にすべきと考えます。年齢、性別、立場などにより、主観が変わってくるため。
- ・市民皆が意見をもっと出し合う。
- ・節約。無駄なものはつukらない。
- ・富山 J C のまちづくりが市民に認知され、一緒に活動できる事業を継続出来たら良いと思います。

Q7. その他、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

- ・視点を改めてみる事の大切さは本当にそうだと思う。多面的な見方は盲目的な考えに陥る危機を回避する。
- ・本日出した意見よりも一歩踏み込んで市民がどのような行動をしていくべきかについて話し合い、明日からの行動に結びつく内容となればさらに良かったです。
- ・たくさんの方の話が聞けて感謝です。
- ・お疲れ様でした。
- ・素敵な会議で貴重な意見が聞けました。
- ・お疲れ様でした。検証まで宜しく御願います。

平成30年9月吉日

各 位

富山市長 森 雅 志

公益社団法人富山青年会議所

理 事 長 牧野 裕一郎

「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催により、「AMAZING TOYAMA 会議～とやま まちづくり市民討議会 2018～」を開催いたします。

この市民討議会は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただく、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年のメインテーマは「誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！」とさせていただきます、討議テーマは「とやまの好きなところ」、「とやまの嫌いなところ」、「とやまへの愛着を育むには？」を予定しております。

皆様には、同封しましたパンフレットをご覧ください、是非ご参加くださいますようご案内いたします。出欠につきましては、同封のはがきにて 10月5日（金）までにご返信願います。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民3,000名の皆様に送付させていただいております。

（お問合せ先）

富山市役所商業労政課

電話 076-443-2070

公益社団法人富山青年会議所

電話 076-433-3334

誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！

あなたの声でまちを変えよう！！



AMAZING TOYAMA

AMAZING TOYAMA 会議

— とやま まちづくり市民討議会 2018 —

日時

平成30年 **10月27日** (土)・**28日** (日)
両日とも 10:00~15:00(受付9:30~) ※昼食は準備させていただきます。

会場

富山市まちなか総合ケアセンター
地域連携室 富山市総曲輪4丁目4-8

AMAZING TOYAMA 会議とは？

市民と行政との協働により「まちづくり」を考える市民討議会です。住民基本台帳から無作為抽出された市民が、少人数のグループに分かれ、テーマごとに必要な情報の提供を受けて、地域問題などの身近な問題をディスカッションします。全国の多くの市町村で開催されており、富山市では平成22年より開催し、今年で9年目を迎えます。

参加すると？

あなたの意見が富山市のまちづくりに反映されるかもしれません。討議で集約された意見は、報告書にまとめます。当日の謝礼として些少ですが5,000円をお支払いします。また、昼食も準備します。

AMAZING TOYAMA 会議

— とやま まちづくり市民討議会 2018 —

誰もが暮らしたいまち、とやまを創ろう！

この度、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催で、「AMAZING TOYAMA 会議」と題した市民討議会を下記の日程で開催する運びとなりました。この市民討議会は、市民主役のまちづくりの実現に向け、市民の皆様にもまちづくりの課題について討議していただく新しいシステムです。皆様が普段、富山のまちについて感じていること、意見したいことなどをこの機会にお聞かせいただけないでしょうか？ つきましては皆様には是非ご参加いただきたく、同封の返信ハガキにて出欠をお知らせください。参加をご希望された皆様から厳正な抽選により参加者を決定させていただきます。

日時

平成30年 **10月27日** (土) ・ **28日** (日)

両日とも 10:00～15:00 (受付9:30～) ※昼食は準備させていただきます。

会場

富山市まちなか総合ケアセンター
地域連携室 富山市総曲輪4丁目4-8

※いずれかの日で、10時から15時までのすべてに参加できる方に限定させていただきます。参加者には当日の謝礼として**5,000円**をお支払いいたします。抽選により参加が確定された方は、10月中旬に書面にてご連絡させていただきます。尚、討議の様子は公開とさせていただきます、ご自由に見学もできます。内容報告についても後日、富山市役所のHPに掲載させていただきます。尚、会場までの交通費または駐車料金は自己負担になります。

難しいことは、
わからないけど…。

大丈夫です！



テーマごとに
情報提供しますので、
知らないテーマでも
気軽に参加できます。



定員合計 **100名** (1日目：50名、2日目：50名)

お問い合わせ **富山市役所商業労政課商業振興係**

TEL 076-443-2070 / FAX 076-443-2183

公益社団法人 富山青年会議所

担当：とやまの人材発掘委員会

TEL 076-433-3334 / FAX 076-433-7333

URL <http://www.toyamajc.or.jp>

E-mail info@toyamajc.or.jp



主催者挨拶（富山市）



主催者挨拶（富山 J C）



グループワーク



意見抽出



発表



例年の倍の規模